

Door Handle Protector

ドアハンドルプロテクター
取付・取扱説明書

AutoExe
A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒135-0051 東京都江東区枝川2丁目15番8号
TEL: 03-6458-7251 FAX: 03-6458-7261

この度は、オートエクゼ“ドアハンドルプロテクター”をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
取付け作業を開始する前に、本説明書を必ず読んでください。
常に最良の状態でご使用いただくために、本説明書をよくお読みいただき、内容を理解された上で正しい取付けを行ってください。

ご注意とお願い

- 本説明書に示されている △ 警告マークと △ 注意マークは、取付け、取扱いに関する安全上の事項ですので、必ず厳守してください。
- △ 警告： 警告事項を守らないと生命の危険、または重大な障害につながる恐れがあります。
- △ 注意： 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷したりするなどの恐れがあります。
- 本説明書に記載されていない取付け、使用方法は絶対に行わないでください。
- 本商品を改造しての取付けは、絶対に行わないでください。
- 本商品の取付け、取扱い内容につきまして、ご不明な点がございましたら、商品購入先の販売店にお問い合わせください。
- 記載事項をまもらなかった為に発生した不具合につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

取付け販売店の方へ

取付け完了後、本説明書は必ずお客様にお渡しください。

お客様へ

- 本説明書は、他の用品装着時に必要となる場合がありますので取付け完了後も大切に保管してください。
- 本商品を他のお客様にお譲りになる場合は、必ず本説明書もあわせてお渡しください。

△【重要】施工上のご注意 △

ドアハンドルプロテクターを貼付ける際、ボディコーティングやワックスが残っていると剥離の原因となります。必ず除去剤やコンパウンドでボディコーティングやワックスを落としてください。パーツクリーナーでは脱脂が不十分な場合がありますので、イソプロピルアルコール(IPA)を使用してください。

△ 施工前の注意事項

- ・ 貼付け面は洗浄し、脱脂剤等を用いて汚れ・油分を除去してください。
- ・ 製品の接着面および貼付け面はドライヤー等で十分に温めた上で施工してください。
(貼付け面温度が15℃以下の場合は、両面テープの接着力が低下します。)

△ 施工時の注意事項

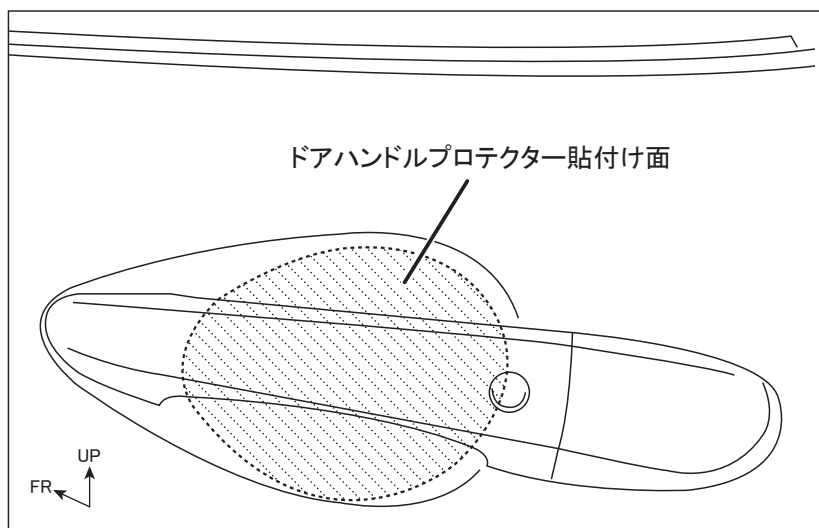
- ・ 貼付け作業の際は、貼付け面に触れないでください。油分が付着すると接着力が低下し、剥離の原因となります。
- ・ プロテクター内面に空気が残存すると、熱により膨張し剥離の原因となります。貼付けの際は、中央部から外側に向けて空気を抜きながら均一に圧着してください。

△ 施工後の注意事項

- ・ 貼付け後24時間以内は、洗車や降雨などにより水に濡らさないでください。
- ・ ワックス・コーティング剤・有機溶剤は使用しないでください。万一付着した場合は、速やかに拭き取ってください。
- ・ 高圧洗浄機およびスチーム洗浄機の使用はしないでください。

ドアハンドルプロテクターの取付け

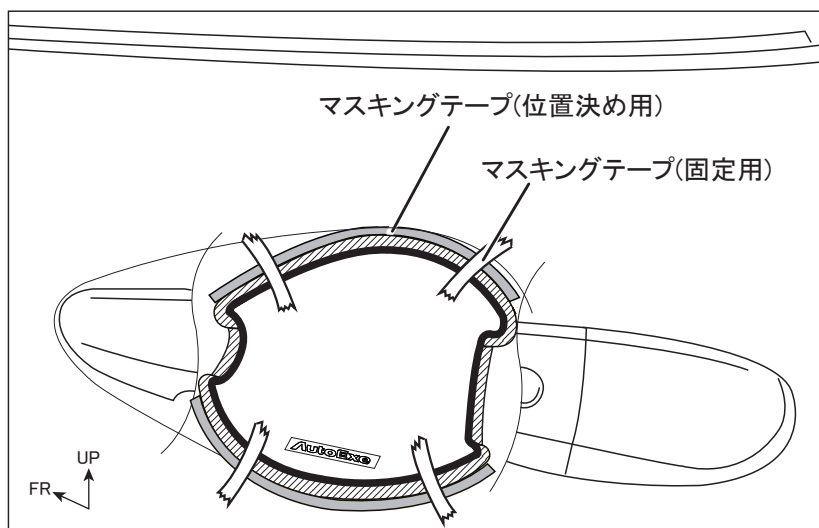
本書は車両左側で記載しています。反対側(右側)も同様に作業してください。
図示は第6世代車両ですが、第7世代車両も同様に作業してください。



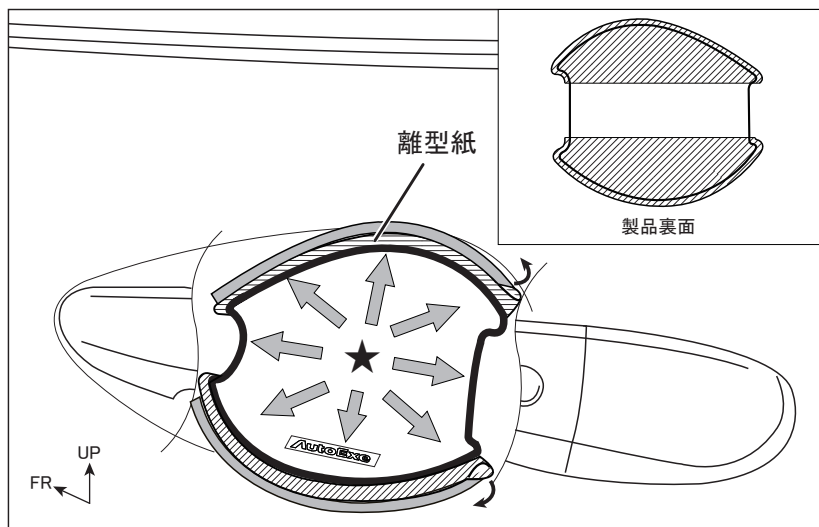
1. ドアハンドルプロテクター貼付け面を洗浄します。
※ボディコーティングやワックスが施工されている車両は必ず除去剤やコンパウンドでコーティングを落とし、作業後は除去剤を洗浄してください。

2. ドアハンドルプロテクター貼付け面を脱脂します。

脱脂にはイソプロピルアルコール(IPA)を使用してください。



3. ドアハンドルプロテクター左右開口部の小さな方を車両前方とし、車両側窪み中心とドアハンドルプロテクター中心を合わせ上下左右のバランスが均等になるよう、マスキングテープ等で固定し位置を決めます。



4. マスキングテープに合わせて、ドアハンドルプロテクター離型紙の中央部分を剥がし、中心部(★部)から外側に向かって空気を抜きながら均等に圧着します。
上下の離型紙を引き抜き同様に中心部から外側に向かって空気を抜きながら均等に圧着します。

※圧着後の再施工は行わないでください。

圧着目安: 30N(3kgf) 以上

接着力を向上させる為、プロテクター貼付け時には、プロテクター本体及び車体側をドライヤー等で温めてから作業を行ってください。

5. 位置決めのマスキングテープを剥がし、作業完了です。